

## 予想以上の強さを示すブラジル経済

2010年6月30日 投資調査部長

レポート・ハイライト

鈴木 英之

6月に発表されたブラジルの経済指標は、同国経済の予想以上の強さを裏付けるものとなった。こうした中、28日に格付け会社のひとつであるフィッチ・レーティングは、ブラジルの長期外貨建て・自国通貨建て格付け見通し(アウトトラック)を「安定的」から「強含み(ポジティブ)」に変更した。

### 1. 予想以上の強さを示すブラジル経済

6月に発表されたブラジルの経済指標は、同国経済の予想以上の強さを裏付けるものとなった。1日に発表された鉱工業生産(4月)は事前予想を上回る前年比17.4%の伸びとなり、5ヶ月連続の2桁増加となった。また、同日に発表された貿易収支も、予想を大幅に上回る黒字となった。8日に発表された同国の1~3月期実質GDPは前年同期比で9.0%の増加であり、事前予想の8.5%増を上回った。

こうした中、28日に格付け会社のひとつであるフィッチ・レーティングは、ブラジルの長期外貨建て・自国通貨建て格付け見通し(アウトトラック)を「安定的」から「強含み(ポジティブ)」に変更した。同社は、ブラジルの格付けを、ムーディーズやS&Pと同等水準となるBBB-に設定している。同社も発表文の中で、格付け見通しの変更の背景に「ブラジル経済の予想外」の強さがあることを認めている。

もっとも、1~3月期の数字自体には、イレギュラーな要因も含まれていることに注意が必要であろう。工業製品税の3月末の打ち切りをにらんだ駆け込み需要があるため、4~6月にはその反動が表れやすい。四半期別GDPの市場コンセンサス(Bloomberg集計)は、4~6月期+7.2%、7~9月期+6.1%となっている。

### 2. 経常赤字拡大がリスク要因

19日に、中国が人民元の変動を弾力化するとの発表を行った。これは、ドルに対して人民元を大幅に上げることは意図しないものの、緩やかに変動することは容認したものと捉えられる。

人民元の切り上げは「新興国通貨」対「主要国通貨」というくりで見た場合、新興国通貨がつれて上昇する要因になる可能性がある。その面ではブラジル・リアルに追い風となるかもしれない。また、ブラジル中央銀行のメイレス総裁が述べた通り、ブラジルの輸出競争力を高める可能性がある。いずれも、ポジティブな考え方といえよう。証券投資や直接投資による資金流入が続けば、ブラジル・リアルはさらに強い追い風を受けることになる。

リスク要因は依然として高い物価上昇率であろう。2010年は、消費者物価の目標値である4.5%を上回る消費者物価上昇率が予想され、政策金利は年内に11.5%程度まで上昇するとの見方が有力である。10月の大統領選挙を控えて、必要以上に金利が抑制されれば、来年にかけてインフレ圧力が高まる可能性もある。また、今後、五輪やワールドカップを控え、消費や投資の拡大により、輸入が拡大し、経常収支が赤字に転じる可能性も指摘されており、留意が必要である。

#### 【本資料の免責事項・注意事項】

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。本資料は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

商号等 株式会社SBI証券(金融商品取引業者) / 登録番号 関東財務局長(金商)第44号 / 加入協会 日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会